

# 喜寿に思う

東京秋工会 顧問

## 佐々木 武

(昭和29年機械科卒)



最近、牛久市図書館の雑誌閲覧コーナーで面白い出会いがありました。「経済セミナー」という雑誌で2012年2・3月号48ページです。

「2011年のノーベル経済学賞クリストファー・シムズのVARモデルへの貢献を中心に」という題で渡部敏明(一橋大学経済研究所 教授)の発表文によって、自分の頭の中が若い時に扱ったベクトルと行列式が浮かび上がり、つつい興奮してしまいました。

当時、自分の仕事は火力発電所のボイラとタービンを結ぶ配管の設計でした。しかし呉の新工場に移り、日立工場で計画した設計によって製造設計をすることになりました。

担当に決まり、1mで高いもので1億円位もする配管ですが、呉で計画から取り掛かりたいと言う一心でした。しかし、配管系の応力解析が必要です。当時まだ人力では不可能でした。

お手本はアメリカの「K E L L O G G」が出版した「Design of Piping system」がありました。しかし、手計算では、当時そろばんや計算尺、或は卓上計算機を使っても何十年も、確か40何年も掛かると、そのように物の本に書いてありました。ですから、そんなことやった事ありません。しかし、何とかしたいと考えました。まだ解析プログラム：マーク等も無かった時代です。お手本を散々検討しました。

約30元から40元位の偏微分方程式を並べ、行列式に組み立てて見ました。三角行列式にまとまりました。四角の行列の中で半分の三角が0で並んだのです。この奇麗さが夢のようでした。自然法則の美を感じさせるものでした。

そこで、電子計算機の利用に走り回り検討しました。

幸い京都大学で研究した多元連立方程式の解法を利用出来る事

が分り、上司と相談し本社の東京で電子計算機(ハイバック)を使って、実施することになりました。

AOサイズ用紙8枚位にまとめた計算式を、機械語で計算機に組み込んで貰い、解析出来るようになりました。

その結果、昭和40年台前半、業務移管が実施され、計画から製造までボイラ同様、呉で計画して進められるようになったのは快挙でした。

その上、当時の研究所長のお計らいもあり、応力解析の業務で日立製作所社長賞の推薦グループに入れて頂き、賞を頂けたことで鼻高々だった自分を思い浮かべております。

今、満77歳になるこの年に、牛久市図書館でその興奮をまざまざと思い出しました。

片やノーベル賞ですが、行列式や連立方程式などを設計に利用するようなことなど考えられない、実験と経験則で設計されていた時期によくやった、と若い時代の喜びを思い出すこの頃です。

喜寿のお祝いは、昨年会社のOB会でありました。

僕の部署に入社した社員が今は社長となり、三段重ねの重みを感じさせる銀杯とお祝い金を渡してくれたのも、僕にとって思い出深いものでした。幸せを感じた行事でした。

今後は楽しい人生を目標に、寿に恥じない老人に為れるよう、夫婦で助け合いながら、過ごしたいものと考えて居ります。

皆々様のご健康とお幸せを念じております。



呉港にて(後方は潜水艦)

## 株式会社 アドテクノ

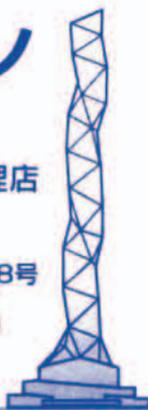
技術コンサルティング

Friction Stir Welding Tool 輸入代理店

〒300-0063 茨城県水戸市五軒町1丁目5番48号

取締役 佐々木 武 (昭和29年機械科卒)

TEL. 029-233-3380 FAX. 029-221-7789



## 富士コンサルタンツ株式会社

土木設計：道路・橋梁・河川・下水道・上水道・公園  
調 査：測量・地質  
財産整理：鉄道固定資産管理

福島営業所所長 野呂 昭光 (昭和37年土木科卒)

〒960-8071 福島県福島市東中央3丁目37番地1  
TEL 024-536-2042 FAX 024-536-2080

本社：宇都宮市

東京事業本部・盛岡営業所・仙台支店・福島営業所・富山営業所・福岡営業所